

第9回新生児スクリーニング全国ネットワーク会議



アロワラム

2026年2月6日(金) 13:00~16:30 ハイブリッド形式

現地会場 AP日本橋 Gルーム 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント6階

司会進行：但馬 剛 (日本マススクリーニング学会 理事長/国立成育医療研究センター研究所 マススクリーニング研究室 室長)

参加者：新生児マススクリーニング関連部署、自治体中核医師、自治体担当者、その他

会議概要説明とごあいさつ

13:00 開会のあいさつ・概要説明
13:02 こども家庭庁母子保健課あいさつ
13:07 厚生労働省難病対策課あいさつ
13:12 日本公衆衛生協会あいさつ

但馬 剛 (日本マススクリーニング学会 理事長)
田中 彰子 (こども家庭庁母子保健課 課長)
山本 博之 (厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課 課長)
福島 靖正 (日本公衆衛生協会 理事長)

I. マススクリーニング関連情報紹介

13:15 こども家庭科学研究の進捗状況
13:35 新生児マススクリーニング検査に関する実証事業の現状について
13:55 SMAスクリーニング最適化に向けた医療体制
14:15 免疫不全症新生児スクリーニング実証事業の現状と今後の展望
14:35 タンデムマス法によるNBSで発見された患児の登録と追跡調査結果

但馬 �剛 (国立成育医療研究センター 研究所 マススクリーニング研究室)
古谷 るふ (こども家庭庁成育局母子保健課 課長補佐)
荒川 玲子 (国立国際医療センター 臨床ゲノム科)
今井 耕輔 (防衛医科大学校小児科学)
北澤 温子 (国立成育医療研究センター研究所 マススクリーニング研究室)

休憩 (15分) 14:55-15:10

II. 各地区の新生児マススクリーニングの現状と課題

15:10 大きく変わりゆくスクリーニング体制：地域横断的な取り組みとして「東北地区新生児マススクリーニングコンソーシアム(すくねっと)」
15:25 ライソゾーム病新生児スクリーニングの公費化：沖縄県の取り組み

和田 陽一 (東北大学 医学イノベーション研究所 東北大学病院 小児科)
知念 安紹 (琉球大学病院 小児科)

III. マススクリーニングのトピックス

15:40 新生児マススクリーニングにおける遺伝カウンセリング：従来から拡大まで

金子実基子 (東京慈恵会医科大学附属病院 遺伝診療部)

IV. 関連学会報告

16:00 脂肪酸代謝異常症国際ネットワーク (INFORM)
2025：ファミリーセッション報告：栄養と運動の実践的アプローチ

大石 公彦 (東京慈恵会医科大学小児科 教授)

V. 患者会より

16:15 患者会からのご報告

中井 まり (ムコネットTwinkle Days)

総括

16:25 総括・事務連絡・閉会

但馬 剛 (日本マススクリーニング学会 理事長)

※各演者の講演時間は10分、15分、20分です（質問時間含む）。

※本会議の一部は、自治体から委託された精度管理経費によって開催します。

主催 一般社団法人 日本マススクリーニング学会 (理事長：但馬 剛)

後援 一般財団法人 日本公衆衛生協会 (理事長：福島 靖正)
NPO 法人 タンデムマス・スクリーニング普及協会 (理事長：山口 清次)

問い合わせ先

一般社団法人 日本マススクリーニング学会 事務局
TEL: 03-6367-6224 (直通) Mail: info@jsms.gr.jp

国立成育医療研究センター研究所 マススクリーニング研究室 事務局
TEL: 03-5494-7133 (直通) Mail: dnscreening@ncchd.go.jp